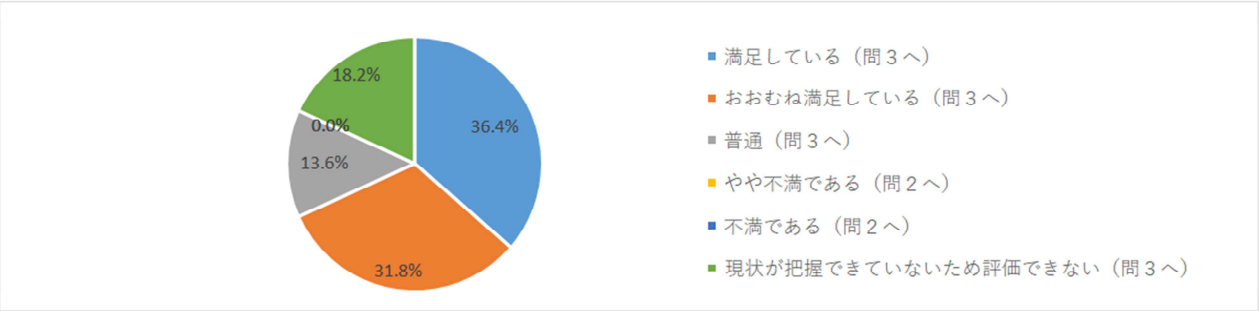
令和８年度　第１回
三条市地域自立支援協議会　別紙２

Ｒ８　基幹相談支援センター事業外部評価　アンケート集計結果

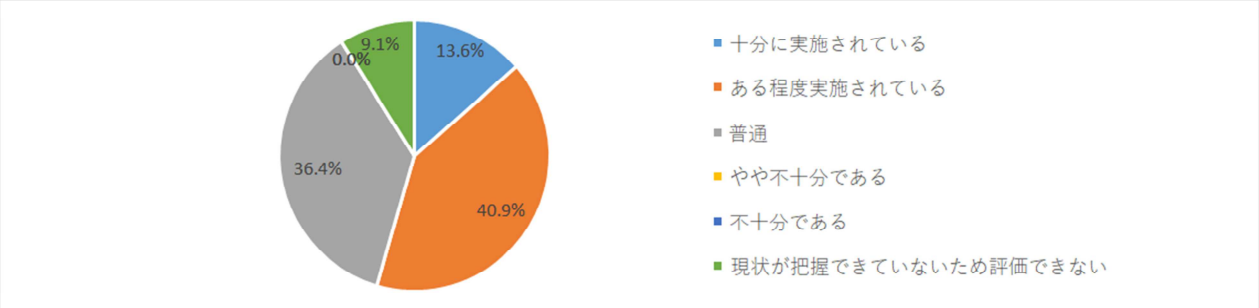
■アンケート対象者数
（市内相談支援事業所に所属する相談支援専門員・相談支援員）：24 人
■回答者数：22 人
■回答率　：91%

問１【必須】
基幹相談支援センター事業による「専門的な助言・指導」に対する、満足度をお聞かせください。（回答形式：単一選択）



問２【問１で「やや不満」「不満」と回答された方のみ必須】
問１で回答いただいた満足度の理由をお聞かせください。（回答形式：自由記述）
0 件の回答

問３【必須】
基幹相談支援センター事業による「人材育成の支援」（研修・人材育成など）に対する評価をお聞かせください。（回答形式：単一選択）



問４【任意】

基幹相談支援センター事業に期待する「人材育成の支援」の内容があればお聞かせください。（回答形式：自由記述）

5 件の回答

・主任のいない事業所に対して、定期的な訪問。

・初任相談員に対しては、フォローアップ訪問を継続していただきたいです。初任相談員の研修に加えて初任相談員同士の横のつながりができるような企画があるとよいかなと思います。（思いつきですが）。事業所のスキルの平準化を目指した試みもあるとよいですが、新規利用者の計画書類の助言くらいしか思いつきません。

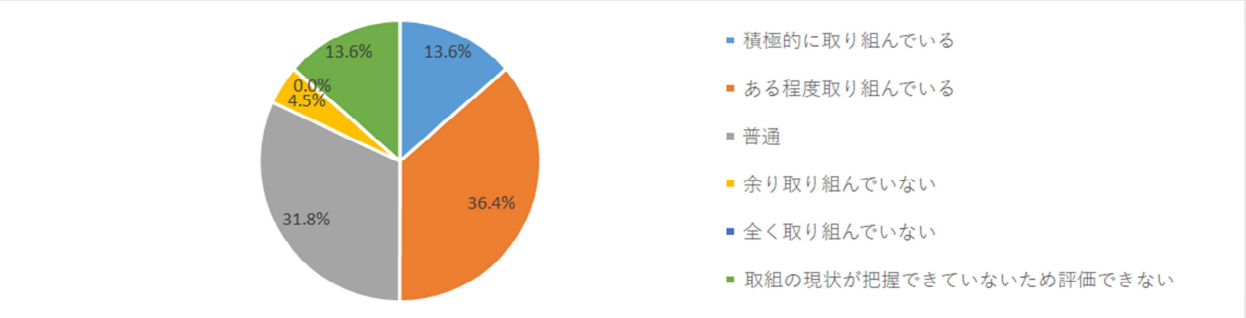
・法人単位ではなかなか難しい面もあるので（特にノウハウのない法人は）ある程度基幹相談支援センターが、相談支援専門員の人材育成を行っていく必要があると思っています。ただ、直営でマンパワーが足りないと思います。相談支援専門員協会などと協力してスキルアップを図っていくのはどうでしょうか。相談支援専門員協会としても、オーダーがあれば対応可能なこともあると思っています。

・昨年の初任者研修のインターバル実習でモニタリング報告書や計画書の書き方のポイントを教えていただき、それを事業所内で共有した。ほんの少しですが業務の負担もへり大変助かりました。

・定着のために経験別や年数別で集まれる会議等

問５【必須】

地域の相談機関や関係機関との「連携強化の取組」における基幹相談支援センターの役割について、評価をお聞かせください。（回答形式：単一選択）



問６【任意】

「地域の相談機関や関係機関との連携強化」について、改善すべき点や期待する取組があればお聞かせください。（回答形式：自由記述）

4 件の回答

・他関係機関との役割分担がよくわからず、負担が多いと感じる。
・協働体制に期待しています。
・必要な情報を共有し合える機会がもう少し増えると、より円滑な連携につながると感じています。
・基幹相談支援センターとしては、頑張っていただいていると思っていますが、やはり医療機関によっては、障がい者福祉の実情がわからなかったり、そもそも制度を理解していなかったりするので、そういったところで相談支援専門員をフォローしていただけるとよいと思います。

問７【任意】

地域づくりの取組として、改善すべき点や期待する取組があればお聞かせください。（回答形式：自由記述）

3 件の回答

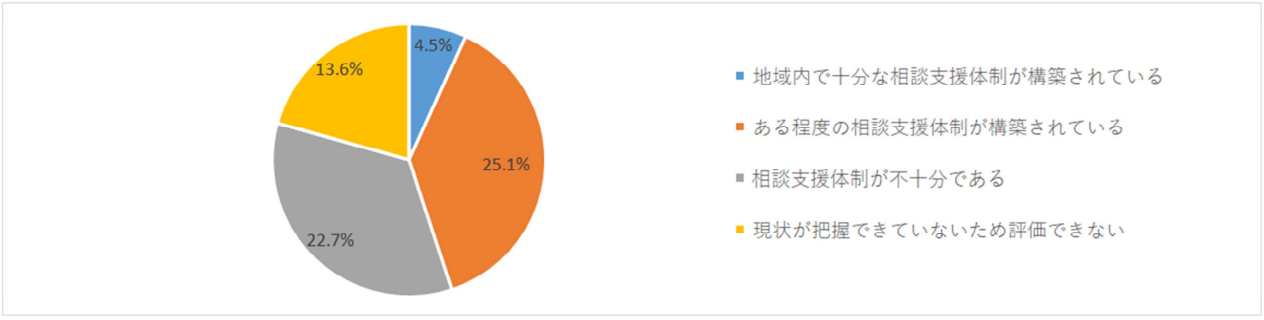
・どんな取り組みをして成果があったのか今一度知りたい。
・基幹相談支援センターとしては、地域づくりをするということに精一杯取り組んでいると感じます。ただ、本来地域づくりをするのは相談支援専門員の役割でもあります。現状そこまで相談支援専門員に余裕がないと思いますし、地域づくりを意識できる相談支援専門員がどのくらいいるのかという実情もあると思います。基幹相談支援センターとして地域づくりをするのは当然ですが、相談支援専門員やひいてはサービス提供事業所の職員にも地域づくりをすることを意識づけできるとよいと思います。
・在宅支援のニーズ（入浴支援・移動支援・通院介助など）が高まっており、必要な社会資源を整理・把握する必要がある。

問８【任意】
権利擁護の取組として、改善すべき点や期待する取組があればお聞かせください。（回答形式：自由記述）

4 件の回答

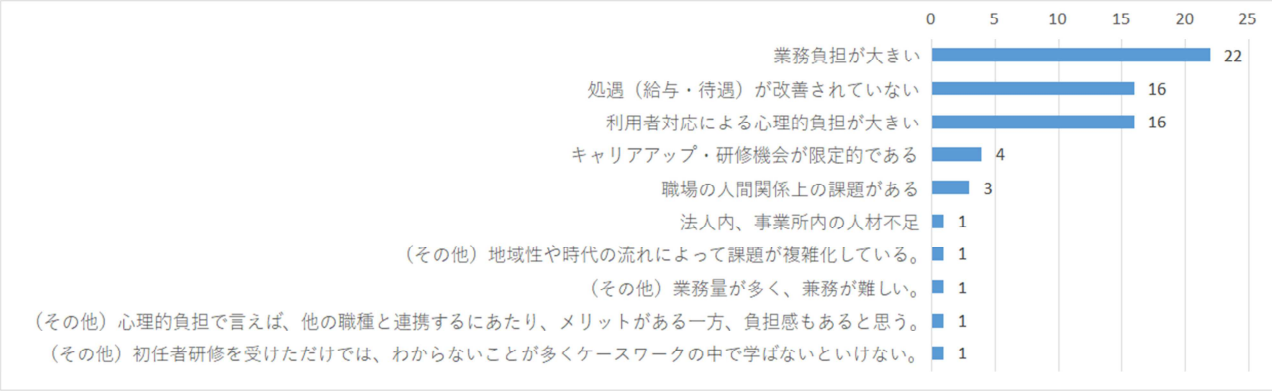
・権利擁護についても相談員がどこまでお手伝いするべきなのかケースバイケースだとは思うが教えてほしい。
・退院支援、入院者訪問支援の取り組みが深まるといいと思います。
・成年後見支援センターが立ち上がって、徐々に浸透していると思いますが、三条市の障がい者福祉分野でどのくらい権利擁護の意識が浸透しているのかわかりかねています。成年後見制度の利用だけでなく、ご利用者様の意思決定支援であるとか、基礎となる部分にも焦点を当てていけるとよいと思います。
・新人の相談員が入ってきたため、以前行った虐待の研修など行っていただけるとありがたい。いてはサービス提供事業所の職員にも地域づくりをすることを意識づけできるとよいと思います。
・在宅支援のニーズ（入浴支援・移動支援・通院介助など）が高まっており、必要な社会資源を整理・把握する必要がある。

問９【必須】
市内の相談支援体制の現状について、最も当てはまるものをお選びください。（回答形式：単一選択）



問 10【必須】

相談支援専門員の人材不足や定着が進まない理由として、当てはまるものを全てお選びください。（回答形式：複数選択）



問 11【必須】

今後、基幹相談支援センター事業に期待する支援について、最も当てはまるものをお選びください。（回答形式：複数選択）

